まなや
学び舎

令和７年度　大住中学校 学校だより１月号

〒610-0343 京田辺市大住池平２　TEL0774-62-8889　FAX0774-62-6212
URL https://www.kyotanabe.ed.jp/ nc3/oosumi-jh

今年の「夢は… 目標は…」

教頭　村田　亨介

新しい年、令和８年(2026 年)が始まりました。
学校では、３学期が始まり、生徒の元気な声が校内のいたるところで聞こえてきます。
さて、新たな年のスタートにあたり、お子さんは「目標」を立てたでしょうか。短期的・長期的な目標を設定し、その達成に向けてコツコツと努力を積み重ねていくことは、夢の実現のためにとても大切です。ご家庭と学校の両面から、お子さんの目標設定、そして目標の達成に向けた努力を認め、励まし、より大きな成長につなげていきたいと改めて感じています。
３学期は、各学年総まとめの３か月です。これまで、日々の授業、学校行事への主体的で、ひたむきな取組など、どの学年の生徒もすばらしい学校生活を積み重ねてきました。この３か月間、これまでの歩みを振り返り、より力強く次のステージに踏み出せるよう、教職員一同、精一杯支援させていただきます。
本校の教育活動に対する保護者の皆様のご理解とご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは「箱根駅伝」を知っていますか？
毎年１月２、３日の２日間にわたって行われる、東京・読売新聞社前～箱根・芦ノ湖間を往路５区間（107.5Km)、復路５区間（109.6Km）の合計 10 区間（217.1Km）で競う、学生長距離界最長の駅伝競走です。今年も２日（往路)、３日（復路）で行われ、青山学院大学が史上初となる２度目の総合３連覇（通算９度目）を達成しました。往路復路ともに制した完全優勝は２年ぶり６度目であり、また、昨年マークした大会記録を３分 45 秒上回る驚異の大会新（10 時間 37 分 34 秒）で栄冠を手にしました。見ていた人も多いのではないでしょうか。
箱根駅伝で選手たちが繋ぐ「襷（たすき)」は、単なる布ではありません。そこにはチームメイトの汗と涙、そして「次へ繋ぐ」という強い想いが込められています。一本の襷に込められた選手たちの想いが、私たちに大きな感動を与えてくれます。日々の努力や困難を乗り越える大切さを教えてくれる、そんな重みがありますね。私たちも、それぞれの場所で目標を持ち、仲間と協力し、決して諦めない心で日々を過ごしていきたいですね。

３年生の皆さんは、いよいよ受験です。「最後まで諦めず、できるだけのことはやった！」という気持ちで入試を終わらせることができれば、４月からの生活につながるはずです。泣いても、笑ってもあと少しです。
１、２年生の皆さんは、次の学年へのカウントダウンです。次の学年へ「繋ぐ」という思いで、勉強や部活動、学校行事等に取り組んでください。今の積み重ねが皆さんの未来を創ります。
限りある時間を有効に使ってください。頑張れ、大住中生！

○第 34 回京田辺市子どもの主張大会（11 月 30 日）

京田辺市内小・中学校の代表が日ごろ自分が考えていること等を京田辺市立中央公民館で発表しました。本校の代表として２年生の 河村 康平 くんが「よりよい街づくりに必要な子どもの意見」について堂々と発表しました。

○交通安全運動（12 月２日）

本校卒業生で京田辺市 PR 大使の大倉士門さんが、田辺警察の一日警察署長を務める交通安全運動のイベントに、本校吹奏楽部と生徒会本部役員が参加しました。

第一部として、京田辺市役所玄関で、吹奏楽部が交通安全を呼びかける演奏を披露し、会場を明るく盛り上げました。

第二部では、フレスト松井山手店前で、生徒会本部役員が大倉さんとのトークショーを行い、その後、来場者に交通安全の啓発グッズを配布し、地域の方々に安全意識を高めてもらう活動を行いました。今回の取組を通じて、生徒たちは「地域の安全を守るために自分たちができること」を考える貴重な機会となりました。今後も学校として、交通安全の意識を高める活動を続けていきます。

○花いっぱい運動（12 月 17 日）

PTA 校外生活部主催で「大住花いっぱい運動」を行いました。当日は、保護者の皆さま、そして協力してくれた生徒の皆さんが一緒になり、40 個の寄せ植えを作成しました。色とりどりの花を選びながら、笑顔で作業する姿がとても印象的でした。完成した寄せ植えは、校区内の各施設に渡しに行きました。ご協力いただいた保護者の皆さま、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

○１月行事予定

○　７日（水）始業式・身体測定（２計測全学年）・最終下校 15 時 00 分・給食なし
○　８日（木）給食開始
○１６日（金）避難訓練
○１９日（月）～２０日（火）授業公開日（１．２年生）・学芸展示
○２１日（水）３年生学年末テスト（３年生給食なし）・ＰＴＡ給食試食会
○２２日（木）３年生学年末テスト

○２月行事予定

○１０日（火）～京阪神私学入試　　３年生給食なし（１０日のみ）
○１１日（水・祝）建国記念の日
○１６日（月）公立前期選抜　３年生給食なし
○１７日（火）公立前期選抜　学期末テスト前部活動停止
○２３日（月）天皇誕生日
○２４日（火）１・２年生学年末テスト１日目　１・２・３年生給食なし
○２５日（水）１・２年生学年末テスト２日目　給食あり

令和7年度　全国学力・学習状況調査の結果より

令和7年4月17日(木)に令和7年度全国学力・学習状況調査が前項の中学3年生を対象に実施されました。この学習状況踏査結果から見えてきた本校生徒の学習状況の概要をお知らせします。また今後の本校教育活動にも活かし、学寮の向上につなげていきたいと考えています。

【国語科の結果概要】
○本校の状況
・各領域(「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」)で平均正答率が全国・府を上回っています。
・14問中10問において、正答率が全国・府を上回っています。
・記述式の問題で、正答率が全国・府を下回るものがあります。
・無回答率は、全国・府よりも全体的に下回っていますが、「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる」問題では、正答率が全国・府よりも下回り、無回答率は全国・府よりも上回っています。

○改善に向けて
・自分の考えを記述する際、①必要な情報を取り出すこと　②表現の効果を考えること等、設定された条件を明確に意識して記述する力が求められています。これからの授業の中で、記述の条件を明確にした学習課題に取り組みます。

【数学科の結果概要】
〇本校の状況
・A 数と式、B 図形、C 関数の領域で平均正答率が、全国・府を上回っています。
・しかし、D データの活用の領域は、平均正答率が、全国・府を下回っています。
・無回答率は、問題形式が選択式や短答式の問題で全国や府よりも上回る問題が半数ほどあります。
・問題形式が記述式の問題に関しては、正答率が全国・府よりも上回る問題が5問中4問あります。5問とも無回答率は全国・府よりも下回るものの、そのうち4問は 15%以上の無回答率の問題です。

〇改善に向けて
・問題文が長く、資料を読んで答える問題の正答率が低くなっていることから、問題をよく読み、じっくり時間をかけて問題に取り組む力を伸ばしていく必要があると考えられます。
・数学の面白さを実感させ、様々な解答へのアプローチを探究する活動をとり入れた授業を実践していきます。

【理科の結果概要】
〇本校の状況
・「粒子」を柱とする領域で、正答率が全国・府よりも下回っている問題が3問中2問(評価の観点が「思考・判断・表現」に当てはまる問題であり、問題形式が記述式の問題です。)あります。また、その問題に関しては無回答率も全国や府を上回っています。
・「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる」「科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる」「【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる」「気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる」「気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身についているかどうかをみる」問題の正答率が、全国や府を下回っています。

〇改善に向けて
・実験や観察などを行う機会を増やし、生徒が疑問や課題をもち、仮説や計画を立て実験を行う学習活動の充実をはかります。
・身近な事象とリンクさせた授業づくりを心がけ、生徒の理科に関する意識を高めます。

【質問調査の結果概要】
【生活習慣について】
　毎日朝食をとる生徒や規則正しい起床習慣など基本的な生活リズムは整っています。
【学習習慣について】
　ICT スキルでは、文章作成ができると答えた生徒は 46%(全国 36.4%)、情報収集は 50%(全国 48.4%)、情報整理は 50%(全国 42.2%)、プレゼン資料作成は 49%(全国 31.8%)と、特にプレゼン作成能力で全国を大きく上回っています。さらに、地域や社会をよくしたいと考える生徒は約 70%で全国平均 52.9%を大きく超え、社会貢献意識の高さが際立ちます。
【自分自身に関することについて】
　将来の夢や目標を持つ生徒は約 34%で全国平均 35.5%とほぼ同水準ですが、決して高いとは言えません。また、学校外での学習時間や読書習慣は全国平均と同程度かやや低いです。ICT 活用力は高いものの、学びを深めるための自主的な学習習慣や情報活用の幅をさらに広げることが今後の課題と考えます。